

# 環境経営レポート



エコアクション21  
認証番号0008443



白鷺電気工業株式会社

発行:2022年8月10日

対象期間:第66期 2021年4月1日~2022年3月31日

# 白鷺電気工業株式会社 環境活動レポート2021

## INDEX (目次)

	P1	目次・編集方針
	P2	トップメッセージ
<b>Plan</b>	P3	会社概要・資格取得一覧
	P4	会社沿革
	P5～6	表彰・認証
	P7	事業案内
	P8	企業理念(企業使命感・存続6ヶ条・環境経営方針)
	P9～10	環境経営目標・環境活動計画(66期)
<b>Do</b>	P11	実施体制
	P12	訓練・教育の実施
	P13	環境コミュニケーションの実施
	P14	環境経営計画に基づく取組内容
<b>Check</b>	P15～16	環境経営目標と取組実績
	P17～20	白鷺型 SDGsアクションプラン2021 全社編
	P21～23	各部編
	P24	おまけ
	P25～26	環境経営目標・環境活動計画 3カ年
	P27	環境関連法規への確認及び評価、違反・訴訟
<b>Act</b>	P28	代表者による全体の評価と見直し・指示
<b>Purpose</b>	P29	ライフラインを守る使命のために

### 編集方針

〈認証・登録範囲〉	本社・八代支社・福岡支社・京都支社・人吉営業所・鹿児島営業所・しらすぎエネルギー株式会社		
〈報告対象期間〉	第66期 2021年4月1日～2022年3月31日		
〈環境管理責任者〉	西	〈発行日〉	2022年8月10日
〈参考ガイドライン〉	「エコアクション21建設業向けガイドライン2017年版」 「すべての企業が持続的に発展するために-持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド-」		
〈お問い合わせ先〉	白鷺電気工業株式会社 / 担当 松嶋 〒861-8035 熊本県熊本市東区御領8丁目3-38 TEL(096-380-7171) FAX (096-380-7140) <a href="https://www.shirasagidenki.co.jp">https://www.shirasagidenki.co.jp</a>		

## 両利きの経営とDX化

白鷺電気工業株式会社 / 代表取締役社長 沼田幸広

### ■カーボンニュートラルの実現に貢献する

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

当社は2012年にエコアクション21認証を取得して以降、環境経営に取り組んでおり、創業70周年時には、本社社屋のZEB化を図るとともにグループのありたい姿「2050年の子どもたちのために、熊本から未来を変える。」を定義しました。

2021年には、創業80周年までに社用のガソリン車に対応可能な車両は電動車へ入れ替えを行うなど、私たちの知見を活かした「カーボンニュートラル」計画を段階的に着手していくことを宣言しました。また、2022年3月に完成した社員寮は、「ZEH-M Ready(ゼッチ・マンションレディ)」仕様の建物で、優れた住環境の提供と社員の利便性を高める取組みも行っていきます。



### ■両利きの経営とDX化

基本コンセプトは「まるで右手と左手が上手に使える人のように、『知の探索』と『知の深化』について高い次元でバランスを取る経営」です。企業は、短期的に成果が出やすく収益が確保できる『深化』にどうしても偏ってしまい、手間やコストがかかる割には収益に結びつきにくい不確実な『探索』は怠りがちになるという傾向が組織の本質としてあるようです。当社はそのバランスを取って二兎を追い、両者を高いレベルで行って未来を切り拓いていきたいと思えます。

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確保すること」です。単なるIT化とは違います。特に建設業界では、人手不足やノウハウの継承をDX化により、業務の効率化、次世代へのノウハウの継承、省力化を行い、建設ディレクターの育成と併せて、働き方改革につなげていきたいと思えます。

中期経営計画「白鷺電気工業 Vision80」では4つのビジョン(①本業を深め、広げる②社内起業を促進する③働き方改革を実現する④さらに地域と共に歩む)を掲げました。

現状維持を脱却して変化の兆しを確実に捉えるために掲げたものです。両利きの経営とDX化により売り手・買い手・世間よしの三方よしを実現していきます。

### ■アフターコロナに向けて

2022年は、アフターコロナに向けた新たなライフスタイルや価値観を基にした新ビジネスが生まれてくる年かもしれません。

当社の主たる事業である電気工事業や電気通信工事業は、「国民生活・国民経済維持の業務をサポートする事業者等」に該当しております。「国民の安定的な生活の確保」や「社会の安定の維持」に必要なサービスの提供に当たっては、感染対策を十二分に取つつ持続しなければなりません。今後もさまざまな変化もありますが、常に「安全を最優先」することに変わりはありません。

熊本に育てられた企業としてできることに真摯に向き合い「企業×環境×地域」を含めたSDGs経営を更に進めていき、「人を大切にし、育てる企業」として社会に信用され続けるしらすぎグループを目指して、これからも社会に貢献してまいります。

# Outline of the Company

## 会社概要

事業所名 白鷺電気工業株式会社		代表者名 代表取締役社長 沼田 幸広
事業所名	従業員数 131名	所在地
熊本本社	81名	熊本市東区御領8丁目3番38号
八代支社	46名	八代市宮地町1680
福岡支社	社員兼務	福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階
京都支社	3名	京都市右京区梅津南広町6-1 エスパリオ梅津4-A号
人吉営業所	1名	人吉市願成寺町1343-1
鹿児島営業所	社員兼務	鹿児島市西千石町11-21 鹿児島MSビル6階
しらさぎエナジー株式会社	社員兼務	上益城郡益城町小谷2224-8

資本金	1億円	設立年月	1947年2月
事業内容	電気工事業、土木工事業、とび・土木工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、水道施設工事業、管工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、機械器具設置工事業		

認可・許可	特定建設業 国土交通大臣許可第18899号
	電気工事業 土木工事業 とび・土木工事業 鋼構造物工事業 塗装工事業 水道施設工事業
	一般建設業 国土交通大臣許可第18899号
	管工事業 電気通信工事業 消防施設工事業 機械器具設置工事業

審査・登録	建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS) 建設業労働災害防止協会
	エコアクション21(持続性推進機構)

資格取得一覧 (全73種が「資格手当支給対象」の資格となり、個人の努力が評価される制度です)			
第1種電気主任技術者	第3種電気主任技術者	電気通信主任技術者(伝送交換)	陸上無線技術士第1級
技術士1次試験合格	監理技術者(電気、土木、通信)	1級電気工事施工管理技士	2級電気工事施工管理技士
1級土木施工管理技士	2級土木施工管理技士	1級管工事施工管理技士	2級管工事施工管理技士
第1種電気工事士	第2種電気工事士	1級電気通信工事施工管理技士	機械保全技能検定1級
発変電制御・保護装置(A.B.C)	消防設備士甲類	消防設備士乙類	危険物取扱者乙4類
測量士補	クレーン運転士	陸上特殊無線技士1級	陸上特殊無線技士2級
工事担当者1種(アナログ・デジタル)	工事担当者2・3種(アナログ・デジタル)	工事担当者2・3種(AI・DD)	工事担当者総合種(AI・DD)
第一種衛生管理者	ITパスポート	環境社会検定(eco検定)	防災士
ビジネスコンプライアンス検定初級	宅地建物取引士	日商簿記2級	日商簿記3級
建設業経理士2級	建設業事務士3級	秘書検定準1級	秘書検定2級
品質管理検定2級	品質管理検定3級	CSR検定3級	※取得済を掲載。種類の追加見直し有り

# Company History

## 会社沿革

- 
- 1947. 2 八代市萩原町に有限会社白鷺電気工業所(資本金十万円、従業員七名)を創業
  - 1958. 2 白鷺電気工業株式会社に社名変更
  - 1973. 4 九州電力(株)本店登録(送電工事、発変電工事)
    - // 7 熊本県知事建設業登録(般-48)第1847号
  - 1976. 3 熊本支店を開設
  - 1977. 3 鹿児島営業所を開設
  - 1981. 5 熊本市石原町360に本社を新築移転
  - 1982. 4 特定建設業登録(特-48)第1847号
  - 1983. 9 大阪中小企業投資育成株式会社の投資を受けて、資本金一億円に増資
  - 1987. 4 人吉営業所を開設
  - 1988. 7 福岡営業所を開設
  - 1995. 6 大阪中小企業投資育成株式会社の投資を受けて、資本金一億一千万円に増資
  - 2000. 11 国土交通大臣許可 (般・特-12)第18899号
  - 2007. 11 NPO法人 しらさぎ 設立
  - 2009. 12 電気自動車 i-MiEV 導入
  - 2011. 3 電気自動車用急速充電器設置
    - // 8 デマンドモニター設置、省エネ機器導入・「熊本県森林吸収量認定書」取得
  - 2012. 4 京都支社 開設
  - 2013. 3 子会社「しらさぎエナジー株式会社」設立・「メガソーラーしらさぎ益城高遊パーク発電所」竣工
  - 2014. 8 沼田吉輝が代表取締役会長に、沼田幸広が代表取締役社長に就任
  - 2015. 2 白鷺電気工業の100%持株会社として「しらさぎホールディングス株式会社」設立
    - // 9 しらさぎホールディングス(株)が株式会社日本政策投資銀行(DBJ)より「DBJ BCM格付」に基づく融資の実施
  - 2016. 2 「Falcon WAVE」によるカメラ監視システム導入
    - // 4 熊本地震
    - // 7 福岡支社、鹿児島営業所移転
    - // 12 道の駅「すいかの里 植木」に充電ステーション設置、サービス開始
  - 2017. 2 創立70周年
    - // 3 しらさぎホールディングス(株)が株式会社日本政策投資銀行(DBJ)より「DBJ BCM格付」に基づく融資の実施
    - // 4 しらさぎファーム(株)が「農地所有適格法人」として活動開始
  - 2018. 2 しらさぎホールディングス(株)が日本サンライズ(株)株式取得
    - // 2 新社屋竣工、本社移転
  - 2019. 10 日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」を取得 ~熊本初、電気工事業で全国初~
    - // 12 EVバスプロジェクト 実証運行スタート
  - 2021. 7 しらさぎホールディングス(株)が、(株)山根電業社株式取得

## Awards and Certification

### 表彰・認証

- 
- 2000. 12 ISO 9001認証取得
  - 2004. 2 ISO 14001認証取得
  - 2011. 2 コスモス(COHSMS)認定
    - // 2 くまもとソーラーパーク認定
    - // 8 熊本県森林吸収量認定書 取得
  - 2012. 6 エコアクション21 認証・登録
    - // 10 熊本県知事より「くまもと環境賞 奨励賞」受賞
  - 2014. 6 NPO法人しらすさが「くまもと環境賞 くまもとストップ温暖化賞」受賞
    - // 12 第7回環境活動レポート大賞・九州「エネルギー部門賞」受賞
  - 2015. 3 NPO法人しらすさが「認定特定非営利活動法人」 熊本市認定第1号として拝命
    - // 6 NPO法人しらすさが環境省より表彰
    - // 8 認定NPO法人しらすさ及び白鷺電気工業が八代市新市誕生10周年記念式典において有功者表彰を受賞
    - // 10 熊本県産業安全衛生大会にて熊本労働局長賞 奨励賞受賞
    - // 10 NPO法人しらすさが「肥後の水とみどりの愛護賞」受賞
  - 2016. 2 NPO法人しらすさが平成27年度熊本市減量美化功労者として表彰
    - // 2 熊本県より「ブライ企業」認定
    - // 11 第9回環境活動レポート大賞・九州「九州地方環境事務所長特別賞」受賞
  - 2017. 3 第20回環境コミュニケーション大賞「優良賞」受賞
    - // 11 第10回環境活動レポート大賞・九州「大賞」受賞
  - 2018. 6 新本社ビル Nearly ZEB 達成
    - // 10 平成30年度「ブライ企業」認定証交付
    - // 10 ヘルスター健康宣言
    - // 11 第11回環境活動レポート大賞・九州「選考委員会特別賞」受賞
    - // 11 グッドキャリア企業アワード2018「イノベーション賞」(厚生労働省人材開発統括官表彰)受賞
    - // 12 熊本県「よかボス宣言」
  - 2019. 1 平成30年度省エネ大賞 「省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞」受賞
    - // 2 第22回環境コミュニケーション大賞「優良賞」受賞
    - // 3 経済産業省・日本健康会議「健康経営優良法人2019」に認定
    - // 11 熊本商工会議所主催「人を幸せにする経営大賞」優秀賞を受賞
    - // 11 一般財団法人 全日本交通安全協会より「交通栄誉章 緑十字銅章」受賞
    - // 11 熊本県主催「男女共同参画推進事業者表彰 職場づくり部門」表彰
    - // 11 第12回環境活動レポート大賞・九州「九州地方環境事務所長特別賞」受賞
  - 2020. 2 第23回環境コミュニケーション大賞「優良賞」受賞
  - 2021. 2 第24回環境コミュニケーション大賞「優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)」受賞
    - // 3 経済産業省・日本健康会議「健康経営優良法人2021」に認定
    - // 3 環境 人づくり企業大賞2020「環境大臣賞(最優秀賞)」受賞

## 表彰・認証

2021.4~2022.3

### 2021.5 「BCAOアワード2020」受賞

特定非営利活動法人 事業継続推進機構（以下BCAO）が主催する「BCAOアワード2020」において、事業継続部門「優秀実践賞」を受賞しました。弊社の受賞は今回が初めてです。



### 2021.11 令和3年度「テレワーク先駆者百選」に選定

総務省では2015年度からテレワーク普及促進を目的として、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」及び「テレワーク先駆者百選」として公表しています。弊社が選定されたのは初めてです。



### 2021.12 第14回環境レポート大賞・九州 「環境経営レポート大賞・九州」受賞

第64期の環境経営レポートが「環境経営レポート大賞・九州」を受賞しました。2019年7月～2020年6月までの環境に関する様々な経営報告をまとめ、公表しました。



### 2021.8 「パートナーシップ構築宣言」を公表

経団連会長、日商会頭、連合会長及び関係大臣（内閣府、経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省）をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設された、「パートナーシップ構築宣言」に賛同し、2021年8月に公表しました。



### 2022.1 第1回 エコアクション21 オブザイヤー2021 ソーシャル部門「銅賞」受賞

一般財団法人持続性推進機構が主催する『エコアクション21 オブザイヤー2021』「ソーシャル部門」にて銅賞を受賞しました。

【評価された取組み】

1. 社内浸透のエコアクション
2. 環境保全のためのNPO法人設立
3. 植林や下草刈りなど地域貢献活動の展開
4. 会社のリアルを伝える情報発信

日頃の社員の取組みを発表し、素晴らしい賞を頂くことができました。

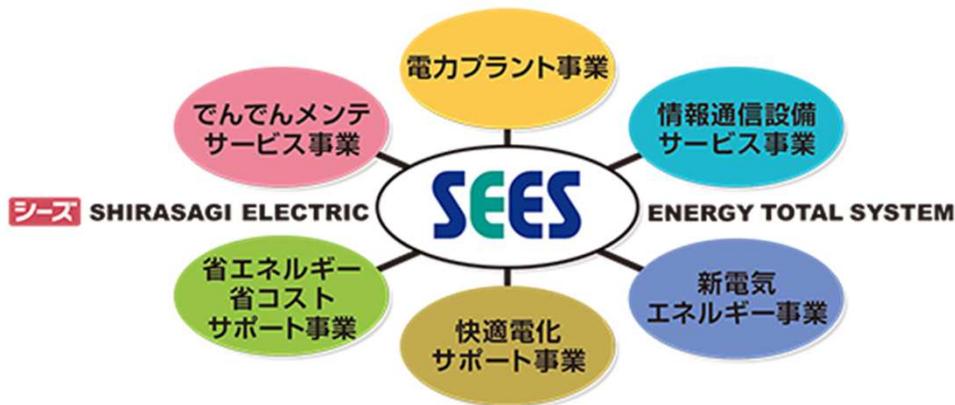


### 2021.8 熊本県SDGs登録事業者「第1期」登録

熊本県が県内におけるSDGsの取組みの裾野を広げるため、これらの企業等を登録する「熊本県SDGs登録制度」を2021年1月に創設されました。弊社は第1期の登録事業者となりました。



# でんきで広がる楽しい地球。



## ■SEESが支える地域の暮らし

総合技術商品である「しらすぎ 電気エネルギー総合システム(SEES)」は、これまで培ってきた発電電・送電工事の技術を基盤に、電気設備の新設・補修工事や太陽光・風力発電等の新電気エネルギー導入のご提案、経済環境には不可欠な省エネルギー・省コストの実現、さらに快適なオール電化のご提案、ビルや事業所の保守・メンテナンスを行い、皆さまの暮らしと産業をサポートする体制を構築していきます。

### ■電力プラント事業

- ・九州電力ほかの発電所新設、修繕工事
- ・九州電力ほかの送電設備新設、修繕工事及び調査測量
- ・電灯、動力設備工事

### ■情報通信設備サービス事業

- ・情報通信網(光ケーブル)新設、補修工事
- ・WAN、LAN工事
- ・信号機工事
- ・BBIQ回線提供工事

### ■新電気エネルギー事業

- ・太陽光発電システム
- ・小型風力発電システム
- ・小型水力発電システム
- ・環境保全型施設的设计、施工

### ■快適電化サポート事業

- ・太陽光発電
- ・電気温水器
- ・エコキュート
- ・IHクッキングヒーター

### ■省エネ・省コストサポート事業

- ・電力環境改善サポート
- ・UPS(無停電電源装置)
- ・空調設備 ・照明器具
- ・ピーク負荷抑制装置
- ・自家用発電機設置工事

### ■でんでんメンテサービス事業

- ・事業所用高圧受変電設備保守、点検業務
- ・オール電化商品保守、点検業務
- ・守衛等警備業務
- ・建築設備の総合管理

## 企業理念

### 企業使命感

くらしと産業の礎をひらく パートナーシステムの 白鷺電気工業

### 存続6ヶ条

1. 安全 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. 協調 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. 技術 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. 啓発 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日、今日よりも明日と自分をみがきます。
5. システム 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行います。
6. 業績 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げるにより信用・業績を高めます。

### 環境経営方針

制定 2011年12月1日 改訂 2019年 7月1日

#### 【基本理念】

白鷺電気工業は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」に基づき、国際社会の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」を考慮した事業活動を行い、社会・経済の発展と地球環境保全に貢献していくとともに、地球上の誰一人として取り残さない(Leave no one behind)ことを理念としてSDGs達成に向けた活動に積極的に取り組みます。

#### 【行動方針】

##### 環境に配慮した事業の推進

事業活動における環境への影響を低減させるため、環境への配慮を行うための目標を明らかにするとともに、これに基づく取組をPDCAサイクルの繰り返しにより継続的な改善に取り組みます。

##### 法規等の遵守

事業活動に関係する品質・環境関連法規制、条例、協定及びその他合意した事項を遵守します。

##### 啓発活動の推進

環境教育、環境社会貢献活動などを通して本方針を周知するとともに、社員の環境保全の意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献します。

##### コミュニケーションの推進

社内外のステークホルダーとの積極的な環境コミュニケーションを進め、相互協力を努めます。

##### SDGs(Sustainable Development Goals)への取組み

「知る」から「行動する」、そして「貢献する」へとSDGsに対する取組みに注力します。

白鷺電気工業株式会社  
代表取締役社長 沼田幸広

## 環境経営目標

区分	項目	基準年	3年間の目標		
		2018年実績	2019年目標	2020年目標	2021年目標
二酸化炭素排出量の削減		366,477 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲1% 362,812kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲2% 359,147kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲3% 355,483kg-CO <sub>2</sub>
	電力の削減	147,393kWh	基準年度比▲1% 145,919kWh	基準年度比▲2% 144,445kWh	基準年度比▲3% 142,971kWh
			ガソリンの削減	86,768ℓ	基準年度比▲1% 85,900ℓ
	軽油の削減	35,092ℓ			基準年度比▲1% 34,741ℓ
			灯油の削減	1,530ℓ	基準年度比▲1% 1,515ℓ
	一般廃棄物 排出量	一般廃棄物削減 (リサイクル率向上) 5,444kg			基準年度比▲1% 5,390kg
			産業廃棄物 排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上) 13,095kg	基準年度比▲1% 12,964kg
	水使用量	水使用量の削減 631m <sup>3</sup>			基準年度比▲1% 625m <sup>3</sup>
			グリーン購入	グリーン購入の推進 4件	基準年の1種類増加 5件
環境に配慮した 事業活動	社会への啓発 活動の推進 イベント参加 (1人当り) 4件/年	イベント参加 (1人当り) 4件/年			イベント参加 (1人当り) 4件/年
化学物質の 管理	化学物質の 適切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
		1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期

- (注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は2020年度九州電力の実排出係数0.479kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用する。  
2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿った適切な取扱と管理の実施を行う。

## (目標の設定)

2018年2月に本社が移転したことによって延床面積が大きく変わりました。

そのため旧社屋で適用した基準のままでは電気使用量の目標達成率が57.8%となり、また本社ではストーブを使用しなくなり灯油の使用量が減少した等の理由から、基準を(新本社に移転後の2年目)2018年実績とし3年間(2019年~2021年)の中期計画を立てました。

今期は3カ年目標の最終年度となります。

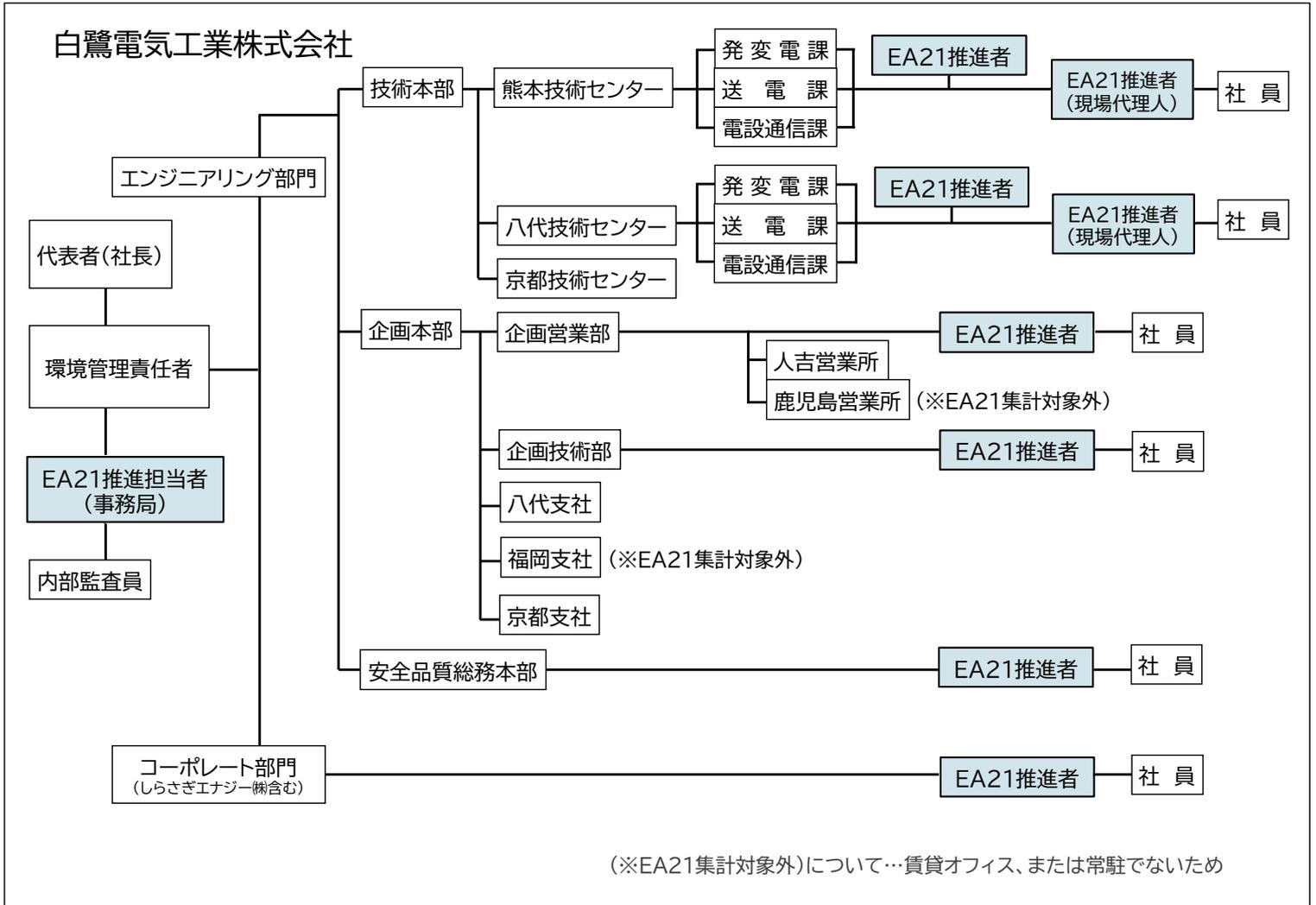
## (グリーン購入について)

グリーン購入の調達判断としては「エコマークとグリーン購入法特定調達品目パンフレット」及び「公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局」のホームページにて「グリーン購入法品目」の検索機能を用いています。

## 環境活動計画

環境経営方針		取組み事項	実施内容	SDGs 取組み
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	・車両管理表の記入徹底による燃費管理 ・ドライブレコーダー全車両取付による運転特性の把握	
		省エネ省コスト製品の提案・導入	・(COOL CHOICE)エコカーの導入、新車への買い替え検討 ・省エネ関連製品の提案・導入促進(EVバス等)	
		地域環境活動NPOボランティア	・熊本城と八代城跡の清掃活動、森林水源涵養のための里山保全、植林地下草刈り	
		電気・水使用の管理	・使用量の把握と節水活動の推進 ・照明の人感センサー・スケジュール機能の見直し	
		クリーンエネルギーの活用	・太陽光発電所発電事業 ・本社ビルの地中熱利用換気システム、太陽光発電、太陽光利用給湯、蓄電池の利用	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	・マニフェストの管理と分別収集の徹底 ・廃棄物排出量の削減 ・リサイクルの推進	
		ペーパーレス化の推進	・プリンターのID管理による無駄な印刷の抑制 ・オンライン会議での資料画面共有による会議資料の印刷削減 ・スマホでも閲覧可能なように添付資料のPDF統一化 ・プリンターの印刷色 デフォルトを白黒にするルール化 ・印刷紙の裏面活用 ・各種申請、日報、給与明細のシステム化(スマホ or PC閲覧) ・全社員への業務用スマホ、ノートPCの貸与	
		グリーン調達	・事務用品、工事資材等の積極的なグリーン商品購入	
		ICTを用いた先進的な取組み	・テレワークやオンライン会議を多用し、移動による労働時間とCO <sub>2</sub> 排出やエネルギーの削減 ・e-ラーニングによる社員のSDGs教育 ・本社「Nearly ZEB」認定、ZEBリーディング・オーナー登録 ・体表温検知システム導入、販売 ・電気通信工事事業者広域連携基本協定締結 ・スマート農業技術の開発	
	2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替の取組み	・SDS制度に基づいた化学物質使用量の確実な把握 ・化学物質使用量の削減 ・資材倉庫・油倉庫の整理・整頓
環境法規制の遵守			・環境法規制の遵守を行い、景観・騒音・振動・悪臭・緑化に配慮する	
ハザードマップ作成			・工事現場周辺の過去の災害、地形や環境を調べて作成、現場事務所内に掲示	
生物多様性に配慮した工法			・工事現場地域の生物多様性に配慮した行動、工法を検討実施する	
災害時の備え BCP対策			・非常用電源の設置、災害対策本部の見直し、連絡体制が機能するかの模擬訓練 ・長距離無線LANや安否確認システム等連絡手段の確保 ・食料備蓄品、段ボールベッド、簡易型炊き出しセットなどの管理	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自立運用	・EA21推進委員会(月1回/年12回) ・クロスパトロール実施(3カ月に1回/年4回) ・内部監査の実施 ・防災訓練・環境教育の実施	
		各事業所単位の環境活動支援	・地域ボランティアによる環境貢献活動	
		職場環境の向上	・働き方改革の推進 ・ワークライフバランスの推進 ・ジェンダーダイバーシティマネジメントの推進 ・外国人の雇用 ・全フロアWi-Fi化による座席の自由度と効率化 ・ムダムラを無くす文房具の共有化 ・社員旅行、花見などの社員間コミュニケーション行事の計画 ・治療と仕事の両立支援、キャリア育成の行動計画策定	
4 シヨンの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	・食事の機会に「3010運動」の計画 ・インターンシップや会社見学の受け入れ ・会社見学者の即時受付のための体制 ・環境経営レポートの配布(会社見学・採用活動・営業活動時) ・各種環境等コンクールへの応募 ・ホームページにてレポートの公開 ・SNSを用いた会社情報や環境活動の発信 ・各種寄付活動	

# 実施体制



順位	主な責任と権限
代表者(社長)	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源(人・物・金)の準備
環境管理責任者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
EA21推進担当者(事務局)	環境経営における事務局としての環境管理責任者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境経営の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者(現場代理人)	環境経営の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
社員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 環境活動における改善点の提言

# 訓練・教育の実施

## 2021.7.3 災害訓練

全国安全週間「災害訓練の日」に合わせて、訓練を行いました。各部で事故発生から緊急連絡体制や負傷者の搬送方法など実際の事故を想定し、関係各所との具体的な連携を確認しました。

### Fwd:【訓練】災害情報伝達訓練（電設通信課）レベル3

1件のメッセージ

#### 【訓練】人身事故発生速報

発生日時 令和3年7月5日（月）13：00頃

場所 YKK AP工場内（八代市新港町）

被災者 中島 滉太

被災状況 現場配管作業中、中島社員が汗を流し倒れているのを発見した。問いかけたが、反応がなかったため、119番に救急搬送要請した。



## 2021.11.1 「熊本シェイクアウト」訓練



地震を想定した防災訓練を毎年実施しています。多くの社員が熊本地震で被災した経験から、必要な訓練との認識で取組みます。



## 2021.11.20 消防訓練

本社は2階給湯室、八代支社は1階炊事場から出火した想定で、火災発生感知器模擬試験、社内通報、消防署通報、避難誘導、人員把握、消火訓練などを実施しました。実際の火災の時も慌てることなくスムーズな避難や通報ができるように今後も訓練を行います。

## 2021.5.12 ワークショップ

1～4級職別に「VIAワークショップ」を開催しました。仕事の意義を見直しながらポジティブ状態をコントロールし、個性の強みを仕事や生活に活かして生産性を上げることが狙いです。



## 2021.9.18 新入社員フォローアップ研修

外部講師をお招きし、基本的な接客や電話応対も学習しました。部署配属になって3カ月目、それぞれが感じる壁にも同期同士で話をする事で前向きにとらえる姿が印象的でした。



## 2021.11.26 安全総点検

しらすぎグループと協栄会社様20社をお招きして実施しました。前年同様コロナ禍での開催となりましたが、スリーエムジャパンイノベーション㈱の石神様による「墜落防止セミナー」では三脚を使って実際吊り下げられた場合にとどのようになるのか実演があり、安全について考える内容の濃い時間となりました。最後は社員代表と協栄会社代表による安全宣言を行いました。開催後のアンケートでは「理解できた」が92%、「仕事に役立つ部分があった」が82%と社員の間でも高評価でした。



## 2022.3.5 安全の日

昨年同様、Zoomを使用してのWeb形式で開催しました。総勢146名が参加し、密を回避のため約半数は自宅からの参加でした。九州電力送配電(株)渡邊様の貴重な経験談を交えての講話「恭敬は安全第一の道」では改めて安全について自分事として考えさせられた内容でした。社員からは「本人の無念さ、家族の思いに心が震えた」との感想も寄せられ、アンケート結果の95%が「十分理解できた」となりました。また、SDGsの教育も行い知識のアップデートを行いました。



## 環境コミュニケーションの実施



### 2021.9.11 南阿蘇下草刈りボランティア

9月とはいえまだまだ暑さが厳しいこの時期に南阿蘇下草刈りボランティアを行いました。EVバスで移動した後、まだまだ青々としている下草を刈りました。以前植樹をした栗の木に栗が実っており、みんなで喜びを感じる場面もありました。続けていくことの大切さを実感するボランティアとなりました。



### 2021.10.30 八代城跡清掃ボランティア

今年で21回目となった八代城跡清掃ボランティアは、昨年と同様にコロナ禍での開催となりました。感染対策を徹底し、八代市在住者を中心に総勢58名で実施いたしました。例年より少ない人数でしたが、高所作業に慣れている社員は、業務の技術を活かし、綺麗な八代城跡がよみがえりました。



## 2021年 コロナ禍での活動

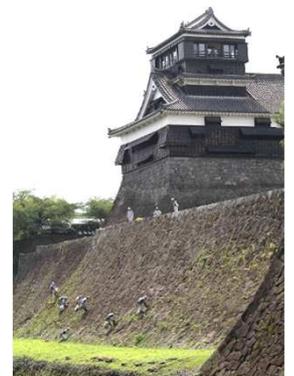
これまでNPO法人しらさぎの活動は、夏に熊本城・八代城跡石垣清掃ボランティアと春秋に南阿蘇下草刈りボランティアを実施しておりましたが、2021年は新型コロナウイルスによる活動制限を受け、八代城跡と秋の南阿蘇の下草刈り1回の計2回開催となりました。これからもwithコロナを考えながら、できる限りの感染対策を実施し、参加者が安心できる活動を実施してまいります。



## NPO法人しらさぎ歴史年表～地域と共に歩んだ歴史～

- 1998. 7月 特別養護老人ホームやすらぎ荘清掃奉仕活動からスタート
- 1999. 8月 八代城跡の清掃奉仕活動をスタート
- 2004. 7月 熊本城の清掃奉仕活動をスタート
- 2008. 4月 第1回阿蘇西原村植林活動をスタート
- 2009. 8月 八代城清掃に景勝地「水島」を加え実施
- 2010.12月 阿蘇西原村下草刈りスタート
- 2012.10月 第21回くまもと環境賞「奨励賞」を受賞
- 2013. 4月 山都町菅棚田地区にて米作り実施
- 2014. 6月 第23回くまもと環境賞「くまもとストップ温暖化賞」を受賞
- 2015. 1月 第110回くまもと環境賞「熊日緑のリボン賞」を受賞
- 2015. 6月 平成27年度 環境大臣表彰「地域環境美化功績者」
- 2015.10月 「肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞
- 2016. 7月 熊本市江津湖で清掃奉仕活動実施
- 2018. 8月 八代城跡・松井神社での清掃奉仕活動を実施

実施回数：延べ 68回  
参加人数：延べ 7,538人



## 環境経営計画に基づく取組内容

環境経営方針		取組み事項	実施内容	評価	SDGs 取組み
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	・車両管理表の記入徹底による燃費管理 ・ドライブレコーダー全車両取付による運転特性の把握	△	
		省エネ省コスト製品の提案・導入	・(COOL CHOICE)エコカーの導入、新車への買い替え検討 ・省エネ関連製品の提案・導入促進(EVバス等)	○	
		地域環境活動NPOボランティア	・熊本城と八代城跡の清掃活動、森林水源涵養のための里山保全、植林地下草刈り	△	
		電気・水使用の管理	・使用量の把握と節水活動の推進 ・照明の人感センサー・スケジュール機能の見直し	○	
		クリーンエネルギーの活用	・太陽光発電所発電事業 ・本社ビルの地中熱利用換気システム、太陽光発電、太陽光利用給湯、蓄電池の利用	○	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	・マニフェストの管理と分別収集の徹底 ・廃棄物排出量の削減 ・リサイクルの推進	△	
		ペーパーレス化の推進	・プリンターのID管理による無駄な印刷の抑制 ・オンライン会議での資料画面共有による会議資料の印刷削減 ・スマホでも閲覧可能なように添付資料のPDF統一化 ・プリンターの印刷色 デフォルトを白黒にするルール化 ・印刷紙の裏面活用 ・各種申請、日報、給与明細のシステム化(スマホ or PC閲覧) ・全社員への業務用スマホ、ノートPCの貸与	○	
		グリーン調達	・事務用品、工事資材等の積極的なグリーン商品購入	○	
		ICTを用いた先進的な取組み	・テレワークやオンライン会議を多用し、移動による労働時間とCO <sub>2</sub> 排出やエネルギーの削減 ・e-ラーニングによる社員のSDGs教育 ・本社「Nearly ZEB」認定、ZEBリーディング・オーナー登録 ・体表温検知システム導入、販売 ・電気通信工事事業者広域連携基本協定締結 ・スマート農業技術の開発	○	
	2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み	・SDS制度に基づいた化学物質使用量の確実な把握 ・化学物質使用量の削減 ・資材倉庫、油倉庫の整理整頓	○
環境法規制の遵守			・環境法規性の遵守を行い、景観・騒音・振動・悪臭・緑化に配慮する	○	
ハザードマップ作成			・工事現場周辺の過去の災害、地形や環境を調べて作成、現場事務所内に掲示	○	
生物多様性に配慮した工法			・工事現場地域の生物多様性に配慮した行動、工法を検討実施する	○	
害時の備え BCP対策			・非常用電源の設置、災害対策本部の見直し、連絡体制が機能するかの模擬訓練 ・長距離無線LANや安否確認システム等連絡手段の確保 ・食料備蓄品、段ボールベッド、簡易型炊き出しセットなどの管理	○	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自立運用	・EA21推進委員会(月1回/年12回) ・クロスパトロール実施(3カ月に1回/年4回) ・内部監査の実施 ・防災訓練・環境教育の実施	○	
		各事業所単位の環境活動支援	・地域ボランティアによる環境貢献活動	○	
		職場環境の向上	・働き方改革の推進 ・ワークライフバランスの推進 ・ジェンダーダイバーシティマネジメントの推進 ・外国人の雇用 ・全フロアWi-Fi化による座席の自由度と効率化 ・ムダムラを無くす文房具の共有化 ・社員旅行、花見などの社員間コミュニケーション行事の実施 ・治療と仕事の両立支援、キャリア育成の行動計画策定	○	
4 シヨンの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	・食事の機会に「3010運動」の実施 ・インターンシップや会社見学の受け入れ ・会社見学者の即時受付のための体制 ・環境経営レポートの配布(会社見学・採用活動・営業活動時) ・各種環境等コンクールへの応募 ・ホームページにてレポートの公開 ・SNSを用いた会社情報や環境活動の発信 ・各種寄付活動	○	

# 環境経営目標と取組実績

↑ 100%以上    → 60%以上    ↓ 60%未満

項目	基準年 2018年 実績値		目標値▲3%	2021年実績	達成度
CO <sub>2</sub> 総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	366,249		355,262	366,477	97% →
電気	使用量(kWh)	147,393	142,971	167,678	85% →
	排出量(kgCO <sub>2</sub> /kWh)	70,601	68,483	80,318	
ガソリン	使用量(ℓ)	86,768	84,165	95,327	88% →
	排出量(kgCO <sub>2</sub> /ℓ)	201,301	195,262	221,158	
軽油	使用量(ℓ)	35,092	34,039	25,194	135% ↑
	排出量(kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)	90,537	87,821	65,000	
灯油	使用量(ℓ)	1,530	1,484	0	使用なし 0達成 ↑
	排出量(kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)	3,810	3,696	0	
水	使用量(m)	631	612	218	281% ↑
一般廃棄物	排出量(kg)	5,444	5,281	8,448	63% →
産業廃棄物	排出量(kg)	13,095	12,702	116,681	11% ↓
グリーン購入	件数	4件	7件	7件	100% ↑
環境活動	件数	4件	4件	2件(※)	50% ↓
化学物質購入	購入量(ℓ)	455ℓ	適切な管理	1,700ℓ	○

\*数値目標は2018年実績を基準とし、3%削減を環境目標とした    \*福岡・鹿児島支社は賃貸オフィス及び常駐でないため集計対象外とした  
 ※環境活動に配慮した事業活動・・・コロナ禍のため全社的な実績は年2件だが、部署単位では目標を達成した

## 取組結果とその評価

- 電気** 冬季は例年より寒い日が続いたため、外気の影響を受け空調の電力が増えました。感染症対策の全館換気も引き続き行ったため、電気使用量の上昇は回避できませんでした。エアコン吹き出し口に空気の循環を生むハイブリッドファンを取り付け、無人で消灯するセンサー式の照明等で無駄な電気を極力使わないように配慮しました。
- ガソリン** 前年と比べて使用量は減少しましたが、目標には届きませんでした。県外工事が多くなると、長距離移動が増え、比例して使用量も多くなるため受注状況に左右されます。乗り合わせを意識するなどして対応していきます。
- 軽油** 前年と比べ使用量が減少しました。工事車両や機械類も環境配慮型へシフトしており、代理人が気を付けて手配している様子が数値にも表れてきました。引き続き、省エネ重視の選定を進めます。
- 灯油** ストープからエアコン等へ切り替え、暖房に使っていた灯油がついに「0」を達成しました。これにより来期の目標から灯油は除外し、別の目標を立てる計画とします。
- 水** これまで水使用量について上水と下水を混同していた箇所があったので、管理表を一部修正しました。公衆衛生の観点から感染症対策としての手洗いうがいを励行しながら、節水を続けていきます。
- 廃棄物** 昨年の審査で工事現場を含めた全量把握のご助言を頂き、一部の取りこぼしていたデータも含めて集計する体制を作りました。集計結果は昨年より増加となりましたが、このデータを基本にして削減の取組みを行います。

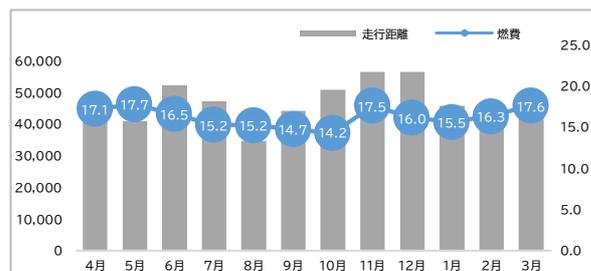
## 燃費向上への取組み

### ■スマートコネク ト ランキングレポート活用

すべての車両にドライブレコーダーを設置し、ドライバーの運転行動を記録。部署ごとのランキングレポートにてドライバーの特性を「見える化」し、安全運転とエコ運転の教育に活用しています。



(平均燃費 15.8km/ℓ ハイブリッド車を含む)



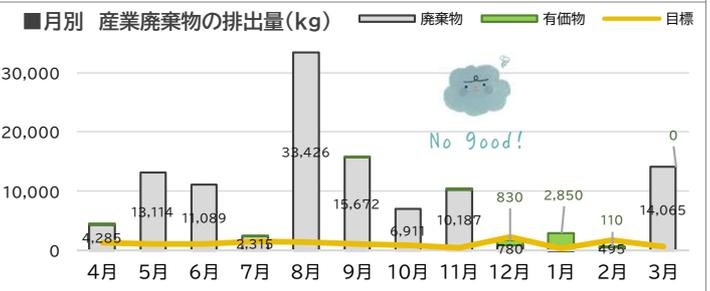
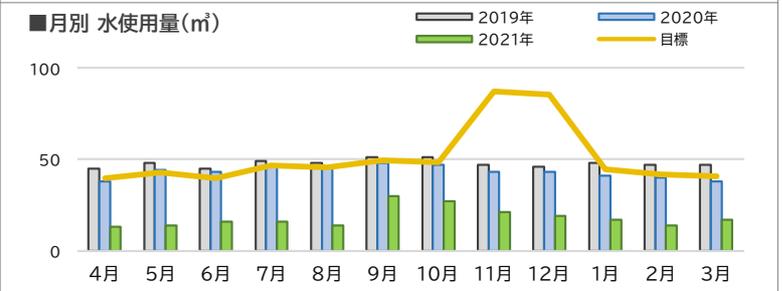
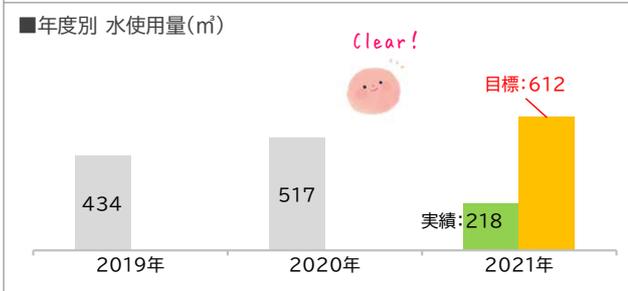
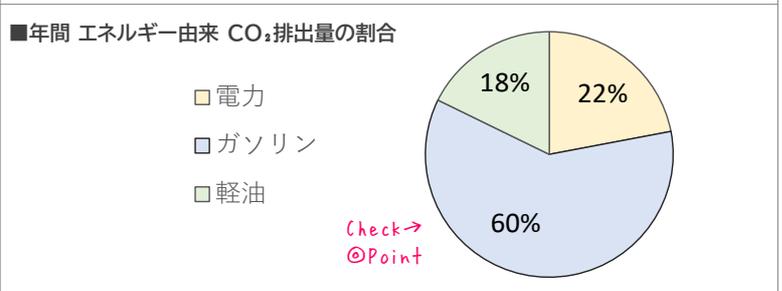
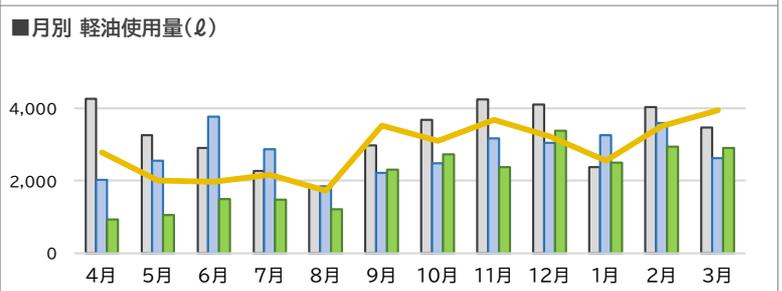
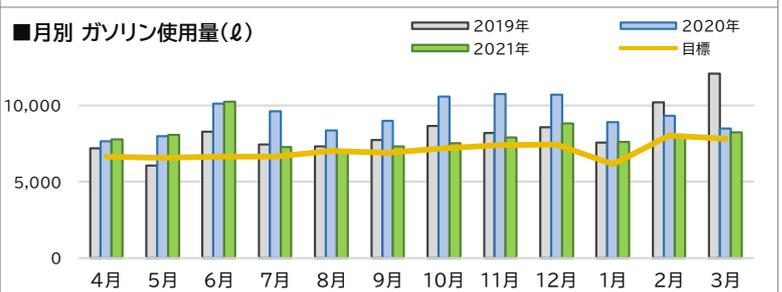
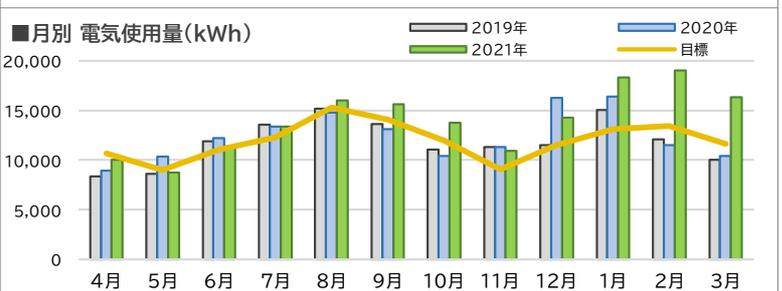
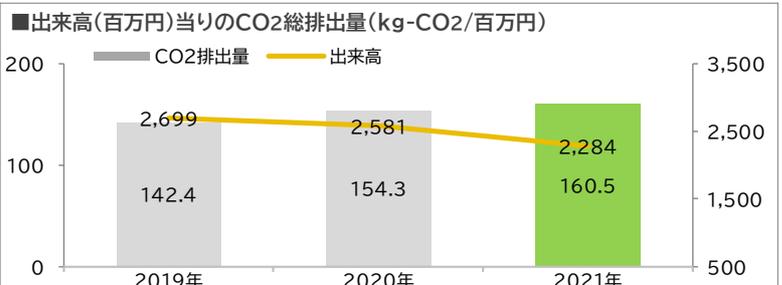
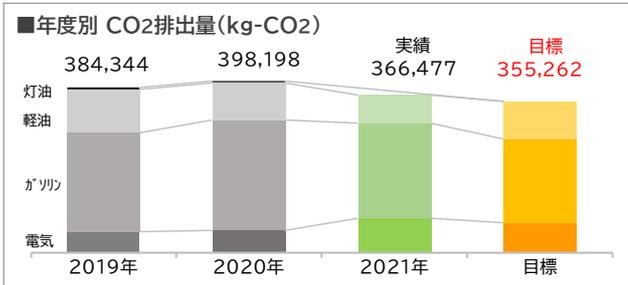
### ■モビリティパスポート導入

効率良く社有車を使えるように、遊休車を「見える化」するシステムを導入しました。スマホからアクセスして車両予約を使うため、一人一台ではなく共用で使うものという意識付けを行っています。



### 白鷺燃費 No.1グランプリ

ライトバン部門			軽ワゴン部門		
部門	号車	燃費	部門	号車	燃費
1	発変電 H033	18.26	送電	H005	17.67
2	送電 H035	16.49	送電	H004	17.08
3	発変電 H034	16.31	発変電	H015	16.58





国際連合広報センター：SDGsを広めたい・教えたい方のための「虎の巻」より

『SDGsアクションプラン2021年』に基づき、「SDGs実施指針」の「8つの優先課題」と、新たに感染症対策に関する内容を盛り込んだ「4つの重点課題」を自社の活動に当てはめながら、会社全体での取り組みをご紹介します。

### 新たな4つの重点課題

- 4-1. 感染症対策と次なる危機への備え
- 4-2. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略
- 4-3. SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出
- 4-4. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

## 人間(People)

8-1. あらゆる人々の活躍・ジェンダー平等の実現    8-2. 健康・寿命の達成    4-1. 感染症対策と次なる危機への備え

### 新しい生活様式への対応

- ・テレワークの実施(令和3年度「テレワーク先駆者百選」に選定)
- ・リモート会議、web研修の実施
- ・体表温検知システムやCO<sub>2</sub>濃度測定器の導入・販売
- ・マスクの配布(のべ総数107,600枚)
- ・VR事業の検討

### ダイバーシティ経営

- ・ハラスメントに関する相談窓口設置
- ・「組織効果性サーベイ」を用いた組織診断の実施
- ・外国人の雇用
- ・インターンシップ受入れ
- ・ストレスチェックの実施
- ・健康診断受診率100%
- ・治療と仕事の両立支援
- ・男女社員育休取得の推進



### 人財育成

- ・新入社員研修(3ヵ月)、フォローアップ研修
- ・職級に応じたワークショップの開催(年1回)
- ・キャリア育成の行動計画策定
- ・資格取得時のお祝い金を見直し増額へ
- ・全従業員を対象としたSDGsのe-ラーニング実施

新入社員ファーム研修



### 幸福度No.1を目指す企業

- ・家族参加型のお花見、社員旅行、忘年会の実施、年2回の慰労会(2021年度はコロナ禍で未実施のため、お重弁当やカタログギフトの配布へ変更)
- ・福利厚生充実(退職金制度、社員寮完備、結婚祝・出産祝・新築祝の祝い金、医療保険、ガン保険等の加入 他)
- ・確定給付企業年金制度    ・選択制確定給付企業年金制度
- ・選択制確定拠出年金制度    ・病欠積立休暇制度
- ・定年の延長(65歳まで)

## 豊かさ(Prosperity)

8-3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション    8-4. 持続可能で質の高いインフラの整備  
4-2. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略  
4-3. SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出

### BCPの取組み

- ・災害発生時の社屋の避難所施設化の準備(備蓄品)
- ・災害時の通信方法の確保、長距離無線LANの確保
- ・非常用電源と蓄電池の設置
- ・電気バスの購入(災害時の給電対応可)
- ・スマホで「安否確認」を伝達するシステムの構築

#### 【災害備蓄品の準備物】

・毛布、アルミブランケット ・飲料水 ・袋式トイレ ・衛生用品 ・布担架  
・食事(アルファ米、クラッカー、パン) ・救急用品(薬、包帯、マスク他) ・炊出しステーション ・AED、応急処置ハンドブック ・発電機、懐中電灯、ラジオ  
・ダンボールベッド 他

### 社会課題の解決

- ・長距離無線LAN構築(Falcon-WAVE)のビジネス化検討
- ・事故の早期解決や抑止を目的に熊本東警察署、熊本東地区安全運転者等協議会と3社でドライブレコーダーの映像提供に関する協定の締結
- ・中間山地に放牧された牛の安否確認や妊娠判定、出産補助などICTを活用した技術提供で、高齢化や人手不足などの社会課題に挑戦し、ビジネス化を検討

## DX(デジタルトランスフォーメーション)化



### ・Salesforceの導入

#### 【取組みの背景】

労働人口の減少と感染症対策として、業務の効率化を図るためにデジタルの利点を活かした非接触・非対面型のコミュニケーションツールを導入した。

#### 【実績】

CRM(顧客管理ツール)による顧客管理情報の一元化  
プロジェクト推進ツールを取り入れてメンバーのタスクを一元化  
グループウェアの活用でスケジュールや資料の共有を一元化

#### 【効果】

クラウド上でのプロジェクト検討や、グループウェアを使った社員同士の案件の進捗確認、顧客情報の一元化管理により関係者での情報共有など。  
企画営業部でロールモデルを作り、他部署へ展開予定。



### ・Mobility Passportの導入

#### 【取組みの背景】

交通事故の削減とコストの削減、3種類使用していた機器の一元化やシステム更新といった管理と運用の手軽さを求めた

#### 【実績】

住友三井オートサービスの「SMAS-Smart Connect」を社有車54台に装着し、レンタル車にはKDDIの「まとめてくるまティクス2」を装着。  
ブラウザで「Mobility Passport」にアクセスし、空いた車両を予約して使用するルールに変更。

#### 【効果】

必要な時間だけ稼働するため、遊休車の特定も簡単になり、空いた車を探す手間が省けるようになった。また、遊休車の割合を分析すれば、社有車の過不足がわかるため、追加が必要かどうかの判断も容易になる。ドライバーカルテやラングレポートで運転結果が出るため、指導の必要なドライバーも見える化され、交通事故も減少傾向になった。人の力だけではカバーできない部分をIT技術で補うことで、安全や管理まで進化させることができ、DX化と経費の節減につながった。4月からスタートするアルコールチェック義務化でも「Mobility Passport」で管理できるよう検討していく。

### ・創意工夫の現場DX化

#### 【取組みの背景】

作業従事者の高齢化問題と作業負担の軽減のため、汎用品のデジタル製品を組み合わせ「創意工夫」のソリューションで労務の軽労化を図った。

#### 【計画】

2021年4月より、各課にDX推進者を任命してECサイトで販売されている安価なシステムや機材を組合せ、作業現場をリモートで監視できるシステムを開発する。また、開発や組み立てに伴いIT機器の設定方法などの勉強会を開催する事で、社員のITリテラシーの向上を図る。

#### 【実績】

発注者側も継続利用するため、システム購入費用を工事金額に計上してもらえるようになった。

LTEルータを活用したシンクライアント方式により現場事務所でも事務処理が可能となり、作業効率が上がった。また、DX推進者全員が簡易的なIP設定やLTEルータのAPN設定を出来るようになった。



SMAS-Smart Connect  
Mobility Passport



住友三井オートサービス

まとめてくるまティクス2



KDDI

## 雇用機会の創出とSDGsを通じたコミュニケーション

### ・SDGsオリジナル木製バッジの作成

#### 【取組みの背景】

工事の際に出る廃材を再利用したいとの思いから、オリジナルの木製バッジ作成を始めた。

#### 【実績】

全国的に見てもSDGsの推進が活発な「阿蘇小国杉のくらし(小国町森林組合)」様へ木製パーツの製作をご依頼し、熊本県の企業同士でSDGsを共有の目的とした活動ができた。木材の循環利用など林業や環境に対する向き合い方にも学びを得られた。  
金属パーツの取り付けや封入作業など、定期的に託麻ワークセンター様へご依頼し、地域内での雇用創出の機会へ繋げている。



材料の廃材



社見学の様子

#### 【効果】

会社見学へお越しのお客様にプレゼントしており、温かみを感じられる木製のバッジに大変喜んで頂いている。また、社内でSDGsのe-ラーニング修了者にも記念としてプレゼントしている。



## 地球(Planet)

8-5. 省・再エネ、防災、気候変動対策、循環型社会

8-6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

### 水と森の保全活動

- ・NPO法人しらすぎとともに南阿蘇村にて植林と下草刈りなど里山の保全活動実施
- ・他社、他団体の環境保全ボランティアに応援参加



### 絶滅危惧種の保全活動・生物多様性

- ・送電線鉄塔間の延線にドローンを活用し、森林の伐採を低減
- ・工事現場地域の環境保全に配慮した行動、工法の検討、実施
- ・環境法令法規の順守
- ・取引先と共同で絶滅危惧種のニホンメダカを飼育し、小学校や保育園へ寄贈



### 防災・減災・レジリエンス

- ・夏季の猛暑に備えて遮熱ヘルメットを購入
- ・廃棄分ヘルメットの回収サイクルが明確な業者を選定



リサイクルされる旧ヘルメット



視認性もUPした遮熱ヘルメット



### カーボンニュートラルへの貢献

- ・電気バスの導入、提案
- ・社有車(対応可のみ)を電動車へシフト
- ・ZEH-M Ready 仕様の社員寮
- ・植林活動による熊本県森林吸収量認証書の交付

18台中  
72%



### 再生可能エネルギーの普及と創出

約66,000㎡の広大な面積を誇るメガソーラーは家庭で1年間に使用する電気の約1,000世帯分を賄う電力を作ることができます。エネルギーの地産地消は地域内でエネルギーを生み出し、地域内で使用されるため、地域内での経済の循環が期待されます。



メガソーラーしらすぎ益城高遊パーク発電所





## 平和(Peace) 8-7. 平和と安全 安心社会の実現

### 安心社会の実現 地域と国際貢献

- ・各部で年間の経営方針書にボランティア活動を計画する(1人年間4回以上)
- ・会社社屋周辺、現場事務所周辺のごみ拾いの実施
- ・古切手回収、書き損じはがきの回収、未使用の食品や日用品をフードバンクへ寄付 ほか
- ・ウクライナ侵攻による避難民支援のため、初の3者マッチングギフトを実現 (社員・会社・むつみ会より同額ずつを国際連合難民高等弁務官事務所『UNHCR』へ寄付)



### 熊本県弁護士協会と意見交換会

- ・「SDGs×法律」で地元企業、団体、地域をつなぐプロジェクトチームを始動させた熊本県弁護士協会と意見交換会を実施
- ・法律の専門家の視点からSDGs達成をサポートするために開催される合同セミナーにパネラーとして参加決定(2022.7月)

### シトラスリボンプロジェクト

- ・コロナに感染しても「ただいま」「おかえり」と心から言い合える職場の空気づくり
- ・昨年引き続き、活動継続中



## パートナーシップ(Partnership)

8-8. SDGs実施推進の体制と手段  
4-4. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

### SDGs活動の普及啓発

- ・ZEBリーディングオーナーに登録し、会社見学などZEB普及活動を実施
- ・75周年を記念し、ZEH-M Ready 仕様の環境に配慮した社員寮を建設
- ・全従業員へ「SDGs e-ラーニング」の実施
- ・環境活動レポートの作成と公表
- ・熊本県SDGs登録制度 第1期登録事業者

### 次期経営方針書へSDGs推進体制の紐づけを検討

経営方針書基本実施事項(1年間の各部の活動目標)

- ①本業を深め、広げる(社内起業の促進含む)
- ②働き改革を実現する
- ③さらに地域と共に歩む
- ④免許取得の推進

①～④項目に関連SDGsを明記し、計画する目標と目指すゴールを関連づけ、本業の中で一体となった活動が出来るような工夫を検討した67期の経営方針書から採用することが決定し、全社一丸となった取り組み体制が構築できた

### 各種コンクールへの挑戦

- ・BCAOアワード「2020」...優秀実践賞
- ・「環境経営レポート大賞・九州」...大賞・九州
- ・エコアクション21 オブザイヤー2021 ソーシャル部門...銀賞

### サプライチェーン管理

- ・お取引先様懇談会を実施し、問題意識の共有や双方向の対話に努める
- ・取引先実績評価表の実施
- ・パートナーシップ構築宣言の公表により  
約束手形の発行を廃止し現金振込へ変更



経営計画方針書

### 新・中期経営計画スローガン「聴いて+観て+想う」

新たな67・68・69期の中期経営計画メンバーが各部から選出され  
2022年2月に中期経営計画の3年間を表す一字を「結」に決定

相手の/社会の/環境の 心を開き、心を観て、心を想う という思いを込めた  
新スローガン 「聴いて+観て+想う」

企業の原点に帰り、仲間と助け合いながら「幸福度No.1の企業」を作っていくため  
新・中計メンバーが課題解決に3年間かけて取り組む

一字「結」に決定





南阿蘇村下草刈りにて

各部のエコアクション21推進委員を中心に各部で取り組んできた様々な活動をご紹介します。  
ひとつの活動は小さなものでも、何がSDGsのゴールに繋がる行動なのかを考えて実施しました。

## 発電課

取組事項：環境経営方針.1・2



### 【取組み内容】 工具類のアップデート

環境配慮型の工具へ変更出来るものを洗い出し、導入。  
点検、工事で使用する発電機を容量に支障がない場合(照明電源、試験機器電源として)ポータブルバッテリーに変更。

### 【感想】

従来、使用していた発電機(2.2kW)に比べ、コンパクトかつ軽量のため、持ち運びが簡単で排気ガスも排出されず、運転した時の音も静かで使い勝手がよかった。容量が大きいものであれば、電気ドリルでもサンダーでも使用可能。



実施推進者  
内田社員



## 送電課

取組事項：環境経営方針.3



### 【取組み内容】 ボランティア清掃

作業現場では作業内容により地域の方々へご迷惑をお掛けする  
場合があるため、率先して清掃活動などを行うようにしている。

- ・現場にて地域清掃ボランティアの実施(佐志分岐線現場)
- ・地域の方々と共に清掃活動(流藻川ゴミ出し)

### 【感想】

- ・工事現場周辺の清掃ボランティアを行いました。国道328号線沿いでの清掃は思ったよりも「空き缶、ビニール袋等」のゴミが多く、頻繁にポイ捨てされている様子でした。
- ・流藻川は地域の方々と力を合わせてゴミの運搬をしました。



### 【取組み内容】 新たなソフトの導入

測量業務に使用する測量CADシステム(測量ソフト)を導入した。

### 【感想】

導入により質が高い業務と生産性の向上を図ることが出来ました。

実施推進者  
平田社員



## 電設通信課

取組事項：環境経営方針.1・3



### 【取組み内容】水洗トイレの設置

働く現場の衛生環境をより良くしていきたい、出来るはずとの思いから。熊本県農業研究センター本部受変電設備その他改修電気設備工事にて水洗トイレを導入しました。

### 【感想】

水洗トイレを導入したことによりトイレを清潔に保つことができ、不快な思いをせずに済むようになりました。同時に節水も気を付けます。



### 【取組み内容】グリーン調達



工事で使う光ケーブルは、環境配慮のためエコケーブルを使用するようにしています。

### 【感想】

火災の場合や廃却時に焼却処理される場合などに、塩化水素ガスなどの有害ガスやダイオキシン等が発生せず、煙の発生も大幅に抑えることが可能です。地球環境への負荷を低減することが出来るので安心して使用することが出来ます。



実施推進者  
田村社員

## 企画営業部

取組事項：環境経営方針.1・3



### 【取組み内容】くまもと マイ・リバー・サポート事業の参加ほか

マイリバーサポート事業の実施  
安全運転の啓発

### 【感想】

今年で9回目のマイ・リバー・サポート事業です。他部署から「やるときは声を掛けてよ！」と言われるほど人気の高いボランティア活動に成長しました。ゴミが川に流れ出す前に清掃をすることで、流れ着く海の環境も守ると思います。引き続き、河川敷の綺麗な風景を維持できるよう活動を続けていきます。



実施推進者  
中山社員

## 企画技術部

取組事項：環境経営方針.1・3



### 【取組み内容】エコマーク付き事務用品の選定ほか

エコマーク付き事務用品の選択  
在庫品、社内リサイクル品の活用(クリップ,ファイルなど)

### 【感想】

事務用品購入はエコマーク付きのものを優先して購入し、共有できるものは買わずに社内の共有文具を使っています。  
書類保管ファイル(紙封筒)は郵便物を再利用し、破れて使えなくなるまで繰り返し使います。新規購入を抑え、経費節減に努めています。



実施推進者  
河南社員

安全品質総務本部

取組事項：環境経営方針.2・4



【取組み内容】ユネスコ世界寺子屋運動

3/5 日本ユネスコ協会連盟へ発送(書き損じハガキ・切手等 350枚 19,986円)  
4/14 日本ユネスコ協会連盟より受領証を受領。



【感想】

『11枚のハガキで、1人がひと月学校へ通えます！』をキャッチコピーとし、ハガキの回収を実施しました。年賀状も「年賀状じまい」をする時代になりましたが、350枚も集まったことに驚きました。また、キャンペーン中という事もあり、日本ユネスコ協会連盟の方にも無料でリーフレットや回収BOXを郵送していただきました。今後も1人でも多くの子どもたちが学べるよう取組んで参ります。

【取組み内容】ハザードマップ作成

防災や危機管理対策として、現場・発変電所に加えて本社や支社のハザードマップを作成。  
現場等に配布し、活用してもらう。



【感想】

ハザードマップを作成時には、現場代理人さんにその土地の地形や特徴を聞いたり大変ご協力いただきました。お陰で、年間で43件作成することが出来、現場でも掲示していただきました。今後もこの取組は、引き続き実施したいと思います。



実施推進者 谷本社員

経営戦略室

取組事項：環境経営方針.1・2・3・4



【取組み内容】EA21の推進、SDGs教育

事務局業務、月1回のEA21推進委員会の実施・推進とSDGs教育・推進、職場環境の改善、社内DX



社内見学会

の推進、会社見学案内、社内外へ環境活動状況の発信、募金活動ほか

【感想】

ハイブリッドファンの取り付けからDX推進、環境経営レポートの作成まで活動が多岐に渡ります。EA21の活動もSDGsの活動も「社内浸透」と「自分ごと化」に落とし込むことが一番大事で大変なことです。コツコツと他部門に向き合いながら頑張っています。いつも室員ほか周りの助けに支えられて活動できています。



実施推進者 松嶋社員



実施推進者 三村社員

人財DX室

取組事項：環境経営方針.1・3



【取組み内容】手形の廃止・グリーン調達

これまでは材料費の一部を約束手形の振出により支払っていたが、約束手形の払出を廃止し、すべての支払を現金振込へ変更。

【感想】

約束手形購入の代金、印紙代、郵送料、手形振出しに係る業務の短縮が大きな成果でした。

グリーン調達 品名	購入頻度
カウネット 再生トイレトーパー	3ヶ月に1度程度
サラヤ ヤシノミ洗剤(詰替え)	2か月に1度程度
カウネット 植物由来のごみ袋	3ヶ月に1度程度
エプソン 純正インク	月に5~10個
ココロ チューブファイル エコツインR	月に10冊程度
カウネット フラットファイル樹脂とじ具A4	月に1度程度
キングジム テブラテープ 簡易包装	月に1度程度

グリーン調達



実施推進者 井上社員



## 捨てるには惜しいネタを拾いあげました。

### ● 八代支社のゴミ表示



いつもキレイに整理されているゴミ箱たち

昨年は表示の古さを指摘されたのでさっそく改善です。雨ざらしと油流出を防ぐウエス入れも素晴らしい配置です。

### ● 取組みは看板から



部ごとの取組み計画が現場の看板に掲示されていました。大事な方針や心得と共に取り組む姿勢を感じます。

### ● 地元民にも嬉しい自販機



山間地の現場事務所に設置した自販機の飲料をお手頃価格で作業員に提供していたところ、いつの間にか地元民の方が喜んで買っていき激熱スポットに(笑)

「喜んでくれればいいかなあ・・・」  
心の広い代理人談

### ● 環境配慮型機器使用



超低騒音、低燃費、オイルガード付環境配慮型の発電機を使用しています。山間地の現場でも配慮は欠かせません。



### ● 山奥ならではの!? しいたけ栽培

宮崎県の子山間地の現場では、現場代理人が伐採した木材を再利用し、しいたけ栽培を行っていました。楽しみながらのSDGs。これぞ持続可能な活動です。



### ● カフェコーナーのSDGs



←今年はいもボトル週間とコーヒーかすのコンポストに挑戦しました。コーヒーかすは養分が少ないので堆肥にするのが難しいのですが、工夫しながら定期的に出る生ごみを軽減しています。



### ● 傘も家に帰りたい

←ついつい忘れて帰ってしまいがちな傘たち。連れて帰ってあげて下さい。



### ● 風の使い道

→ せつかく床から地中熱の風が吹いて出てくるので、業務中は使わない部屋を利用して雨天時の洗濯物を乾かしています。



## 環境経営目標

区分	項目	基準年	3年間の目標		
		2021年実績	2022年目標	2023年目標	2024年目標
二酸化炭素排出量	二酸化炭素総排出量	352,895kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲1% 349,366kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲2% 345,837kg-CO <sub>2</sub>	基準年度比▲3% 342,308kg-CO <sub>2</sub>
	電力の削減 (調整後排出係数)	167,678kWh	基準年度比▲1% 166,001kWh	基準年度比▲2% 164,324kWh	基準年度比▲3% 162,648kWh
	ガソリンの削減	95,327ℓ	基準年度比▲1% 94,374ℓ	基準年度比▲2% 93,420ℓ	基準年度比▲3% 92,467ℓ
	軽油の削減	25,194ℓ	基準年度比▲1% 24,942ℓ	基準年度比▲2% 24,690ℓ	基準年度比▲3% 24,438ℓ
一般廃棄物排出量	一般廃棄物削減 (リサイクル率向上)	8,448kg	基準年度比▲1% 8,364kg	基準年度比▲2% 8,279kg	基準年度比▲3% 8,195kg
産業廃棄物排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上)	116,681kg	基準年度比▲1% 115,514kg	基準年度比▲2% 114,347kg	基準年度比▲3% 113,181kg
水使用量	水使用量の削減	218m <sup>3</sup>	基準年度比▲1% 216m <sup>3</sup>	基準年度比▲2% 214m <sup>3</sup>	基準年度比▲3% 211m <sup>3</sup>
グリーン購入	グリーン購入の推進	1件(新たに設定)	基準年より1種類増加 2件	基準年より2種類増加 3件	基準年より3種類増加 4件
カーボンニュートラル実現	電動車ハシフト	13台(72%) (基準年の全数は18台)	基準年より1台増加 14台(78%)	基準年より2台増加 15台(83%)	基準年より3台増加 16台(89%)
環境に配慮した事業活動	社会への啓発活動の推進	イベント参加 (1人当り) 4件/年	イベント参加 (1人当り) 4件/年	イベント参加 (1人当り) 4件/年	イベント参加 (1人当り) 4件/年
化学物質の管理	化学物質の適切な管理	管理状況の確認 1回/四半期	管理状況の確認 1回/四半期	管理状況の確認 1回/四半期	管理状況の確認 1回/四半期

(注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は2021年度九州電力の調整後排出係数0.398kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用する。

2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿っての適切な取扱と管理の実施を行う。

### (目標の設定)

3カ年目標の見直し時期になったため、電気は実排出係数から調整後排出係数へ係数の変更をします。  
灯油は2021年度実績で使用量が「0」になったため、目標設定から除外しました。代わりに、80周年の2027年までに社有車の対応可能なものは電動車ハシフトする計画を目標設定項目として加えました。段階的に入れ替えを行い、5年後に100%を目指します。

### (グリーン購入について)

グリーン購入の調達判断としては「エコマークとグリーン購入法特定調達品目パンフレット」及び「公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局」のホームページにて「グリーン購入法品目」の検索機能を用いています。

# 環境活動計画

環境経営方針		取組み事項	実施内容	SDGsの取組
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン、軽油等燃料使用状況・車両管理システムの利用率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両管理表の記入徹底による燃費管理</li> <li>・ドライブレコーダー全車両取付による運転特性の把握</li> <li>・Mobility Passport導入による社用車稼働率の向上と記録用紙の削減</li> </ul>	
		省エネ省コスト製品の提案・導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(COOL CHOICE)エコカーの導入、段階的なEV化移行</li> <li>・省エネ関連製品の提案・導入促進(EVバス等)</li> <li>・ZEH-M社員寮の運用管理(V2H設置、カーシェアリング含む)</li> <li>・八代支社 環境配慮型社屋への建て替え工事検討</li> </ul>	
		地域環境活動NPOボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本城と八代城跡の清掃活動</li> <li>・森林水源涵養のための植林や下草刈り等の里山保全活動</li> </ul>	
		電気・水使用の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量の把握と節水活動の推進</li> <li>・照明の人感センサー ・季節ごとのスケジュール機能見直し</li> </ul>	
		クリーンエネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電所発電事業</li> <li>・本社ビルの地中熱利用換気システム、太陽光発電、太陽光利用給湯、蓄電池の利用</li> </ul>	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニフェストの管理と分別収集の徹底</li> <li>・廃棄物排出量の削減</li> </ul>	
		ペーパーレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンターのID管理による無駄な印刷の抑制</li> <li>・オンライン会議での資料画面共有による会議資料の印刷削減</li> <li>・スマホでも閲覧可能なように添付資料のPDF統一化</li> <li>・プリンターの印刷色 デフォルトを白黒にするルール化</li> <li>・印刷紙の裏面活用、印刷時の縮小化、両面印刷の推進</li> <li>・各種申請、日報、給与明細のシステム化(スマホ or PC閲覧)</li> <li>・全社員への業務用スマホ、ノートPCの貸与</li> </ul>	
		グリーン調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品、工事資材等の積極的なグリーン商品購入</li> </ul>	
		ICTを用いた先進的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークやオンライン会議を多用し、移動による労働時間やCO<sub>2</sub>排出、エネルギー等の削減</li> <li>・e-ラーニングによる社員のSDGs教育 ・社内データの一元管理化</li> <li>・本社「Nearly ZEB」認定、ZEBリーディング・オーナー登録</li> <li>・体表温検知システム販売 ・現場支援システムを用いた業務の合理化</li> <li>・電気通信工事事業者広域連携基本協定締結</li> <li>・スマート農業技術の開発 ・VR技術を用いた技術教育の構築</li> </ul>	
	2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDS制度に基づいた化学物質使用量の厳格な在庫管理</li> <li>・化学物質使用量の削減</li> <li>・資材倉庫、油倉庫の整理整頓</li> </ul>
環境法規制の遵守			<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境法規制の遵守を行い、景観・騒音・振動・悪臭・緑化に配慮する</li> </ul>	
ハザードマップ作成			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場周辺の過去の災害、地形や環境を調べて作成し現場事務所に掲示</li> </ul>	
生物多様性に配慮した工法			<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事現場地域の生物多様性に配慮した行動、工法を検討実施する</li> </ul>	
災害時の備え BCP対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源の点検、災害対策本部の見直し、連絡体制の模擬訓練</li> <li>・長距離無線LANや安否確認システム等連絡手段の確保</li> <li>・食料備蓄品、段ボールベッド、簡易型炊き出しセットなどの管理</li> </ul>	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自律運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21推進委員会(月1回/年12回)</li> <li>・クロスパトロール実施(3カ月に1回/年4回)</li> <li>・内部監査の実施 ・防災訓練、環境教育の実施</li> </ul>	
		各事業所単位の環境活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアによる環境貢献活動</li> </ul>	
		職場環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の推進</li> <li>・ワークライフバランスの推進</li> <li>・ジェンダーダイバーシティマネジメントの推進</li> <li>・外国人の雇用</li> <li>・全フロアWi-Fi化による座席の自由度と効率化</li> <li>・ムダムラを無くす文房具の共有化</li> <li>・治療と仕事の両立支援、キャリア育成の行動計画策定</li> <li>・アルコールチェック義務化の対応 ・業務打合せ時間の見える化</li> </ul>	
4 コミュニティの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の機会に「3010運動」の実施</li> <li>・インターンシップや会社見学の受け入れ</li> <li>・会社見学者の即時受付のための体制</li> <li>・環境経営レポートの配布(会社見学・採用活動・営業活動時)</li> <li>・各種環境等コンクールへの応募 ・ホームページにてレポートの公開</li> <li>・SNSを用いた会社情報や環境活動の発信 ・各種寄付活動</li> </ul>	

## 環境関連法規への確認及び評価、違反・訴訟

環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。  
環境法規制の遵守活動を通して、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

法規制等	遵守事項(法規制/自主規制)	遵守評価
家電リサイクル法	・取引業者への適正な引き渡し(発生時のみ)	○
自動車リサイクル法	・取引業者への適正な引き渡し(発生時のみ)	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処置(発生時のみ)・処理委託書提出、処理報告書の受理 ・特定施設の自主点検の実施	○
建設リサイクル法	・工事に係る分別、再資源化の実施・再資源化完了の書面報告 ・対象工事の7日前までの市町村長への届出	○
騒音規制法	・知事へ7日前までに届出(指定区域周囲80m) ・作業敷地境界にて85デシベル以下・空調機(本社・支社)の届出	○
振動規制法	・知事へ7日前までに届出(指定区域周囲80m)・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管・委託契約書(5年間保存) ・マニフェスト伝票管理(5年間保存)・産業廃棄物管理表交付、状況報告 ・産業廃棄物の運搬(運搬車への表示・マニフェスト伝票の携帯)	○
消防法	・市町村条例で定める(指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ届出)	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	・適切な調査、設計、施工及び管理を行う・リサイクルの結果を確認し、記録を保存	—
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガスの規制	—
悪臭防止法	・塗料等を使用する場合の作業量や時間帯の検討	—
道路法	・公共道路を使用する場合(道路管理者へ道路占用許可の申請)	○
道路交通法	・公共道路を使用する場合(管轄の警察署へ道路使用許可の申請)	○
水質汚濁防止法	・知事に60日前までに届出・測定を実施(記録の保存3年間)	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出・生活環境項目については、条例による	○
毒物及び劇物取締法	・ケトンその他化学物質の表示、保管	○
地下水保全条例(熊本県)	・ポンプ(本社)の届出(地下水採取の届出及び地下水涵養の取組み)	○
浄化槽法	・定期点検、法定点検の実施	○

(参考資料について)

『環境LDB法令集(建設工事編)(監修 一般社団法人 日本建設業連合会)』を毎年更新し、社内でダウンロードして使えるようにしています。

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の取組みはカーボンニュートラル実現への貢献であり、当社においても環境経営活動の「要」と位置付けています。2021年度もコロナ感染症流行下での経営活動となり、感染症対策をしながらの1年間となりました。マスク着用、手洗い、うがい、消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保などで社員間の蔓延もなく業務に影響せずに済みました。冬季は例年より寒さが厳しく、社屋内の強制換気も同時に行ったため、電気使用量が増える結果となりましたが、快適な執務環境を作るため、エコアクション21推進委員会からハイブリッドファン設置の要望を受けて導入を進めたように、自分たちの働く環境について自ら考え動く組織づくりを続けて欲しいと思います。

当社は5年後の80周年に向け、対応可能な社有車を電動車へ入れ替えるなど具体的に行動します。これらEVや充電設備工事の知見を活かして受注につなげるほか、熊本県SDGs登録制度で示した49の具体的取組みに沿って環境経営計画をまとめ、全社員が一丸となって「脱・炭素社会」へ向けて前進する環境づくりを進めていきましょう。

### 環境経営目標及び環境経営計画について

廃棄物の管理については、前回審査時のご指導のあとEA21推進委員会内で協力体制を検討し、全量把握の道筋を付けました。引き続き、廃棄物の削減について意識付けをしてください。

4月からアルコールチェックが開始され、さらに10月には検知器を用いたチェックになるため、車両管理表記録同様に十分な準備と周知徹底を図ってください。

### 実施体制について

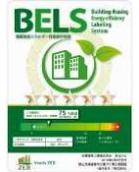
66期に事業年度の変更と組織改編がありました。事務局が安全品質総務本部から経営戦略室へ移管したことで運用ととりまとめがうまくいかない部分は、社内のデータを管理する人財DX室、安全品質総務本部、経営戦略室が相互協力を行い、部の枠を飛び越えて合理的な方法を模索してください。現場がデータをあげやすい体制を作ることが、社内浸透において大切なことです。

白鷺電気工業株式会社  
代表取締役社長 沼田 幸広

2050年の子どもたちのために 熊本から未来を変える。



私たちの使命は、地域のライフラインを守ることです。災害発生時にいち早く現場に駆け付け、迅速な復旧作業を行うには 普段からの備えと機能的で災害に強い社屋が必要不可欠です。快適かつ機能的な私たちの本社社屋とBCPの取組みをご紹介します。



## Nearly ZEBを達成 ZEBリーディング・オーナー登録 (下表ZEBランクにて熊本県で2社 2022/8/1時点)



### ●耐震設計

『災害に強いビル』を目指して建物の座屈拘束ブレース(耐震材)を導入し耐震性を高め、最高ランクの耐震等級「3」相当を実現しました。



### ●Low-E複層ガラスと高断熱壁

外熱に左右されないよう、ビルの躯体を高断熱材で覆い、さらに日射遮蔽を設置して外熱を遮断します。窓はLow-E複層ガラスで太陽熱の侵入を防ぎ、冷暖房効率をアップしています。



### ●スマート直流配電ネットワークシステム

太陽光などの再生可能エネルギーの変換ロスを少なくするために、オフィスビルでは日本で初めて直流380Vで直接給電するスマート直流配電ネットワークシステムを導入しました。



### ●太陽熱利用給湯

太陽光エネルギーは発電ばかりではなく給湯の熱利用としても用いています。更衣室のシャワーは熱いお湯が利用できます。



### ●直流電源対応LED照明

わずかな給電で明るく長時間の点灯が可能です。



### ●電気自動車用パワーコンディショナ(V2H)

電気自動車を住宅用の蓄電池としても活用するための設備です。停電時には太陽光で発電した電気も電気自動車内の蓄電池に充電できます。



### ●地中熱利用換気システム

温度が地表と比較して安定している地中の熱を空調に利用しています。夏に涼しく、冬に温かい地中7.5m付近の熱を利用して事務所の足元や天井から空調の快適環境を実現しています。



### ●非常用電源と段ボールベッド

LPガス防災用発電装置を設置し、停電時は自動で自家発電に切り替わります。また、段ボールベッドは社員の家族も避難できるように準備しており、BCP対策にも力を入れています。



### ●長距離無線LAN

本社の通信機能が災害によって途絶えた際にも、鉄塔に設置した長距離無線LANで本社から約50km離れた八代支社間まで不知火を中継地点にした通信システムを構築しています。八代支社の通信機能が生きていれば、無線LANを通じてインターネットを利用することができるようになっています。



### ●災害備蓄品

備蓄品の中には食料や薬もあるため、消費期限の確認を定期的に行い、廃棄などで無駄が出ないように管理しています。食品は期限が到来する前にフードバンクへ寄付します。

ZEBランク	建物用途	一次エネルギー消費量削減率	
		省エネのみ	創エネ含む
『ZEB』	すべて	50%以上	100%以上
Nearly ZEB	すべて	50%以上	75%以上
ZEB Ready	すべて	50%以上	—
ZEB Oriented	事務所、学校等	40%以上	—
	上記以外用途	30%以上	—



2016年4月 熊本地震 復旧作業にて

昼夜を問わず電気の復旧作業を全社員一丸となって行いました。

# 環境経営レポート 2012年初刊～2022年までの軌跡

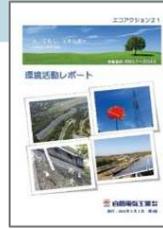
認証・登録番号 0008443 認証登録日 2012年6月26日



第56期 2012.7 初刊



第57期 2014.4 発行  
第7回「環境活動レポート大賞・九州」  
エネルギー部門賞 受賞



第58期 2015.3 発行



第59期 2015.12 発行  
第9回「環境活動レポート大賞・九州」  
九州地方環境事務所長特別賞 受賞  
第20回「環境コミュニケーション大賞」  
優良賞 受賞



第60期 2017.5 発行  
第10回「環境活動レポート大賞・九州」  
大賞 受賞



第61期 2017.12 発行  
第11回「環境活動レポート大賞・九州」  
選考委員会特別賞 受賞  
第22回「環境コミュニケーション大賞」  
優良賞 受賞



第62期 2018.12 発行  
第12回「環境活動レポート大賞・九州」  
九州地方環境事務所長特別賞 受賞  
第23回「環境コミュニケーション大賞」  
優良賞 受賞



第63期 2019.11 発行  
第24回「環境コミュニケーション大賞」  
優秀賞 受賞



第64期 2020.11 発行  
第14回「環境活動レポート大賞・九州」  
大賞 受賞



第65期 2021.10 発行



第66期 2022.8 発行



長年の活動が表彰されました

## 編集後記

環境経営レポートを作り始めて3年が経ちました。  
3年前、右も左もわからない状態からエコアクション21を推進する立場になって、  
点と点がつながった瞬間がいくつもありました。  
その感動と社員全員の努力を取りこぼすことなく書き綴っていくことが責務だと思い  
これ1冊で「白鷺電気が大体わかる」をギュッと詰め込みました。

あっという間の3年間でしたが、そろそろ次の世代にバトンタッチです。

社長を始め上司の皆さま、先輩や同僚、後輩の皆さま  
色んな場面でアドバイスやご助言を頂き感謝しかありません。  
温かなご支援をありがとうございました。

EA21推進事務局 経営戦略室 松嶋

***SHIRASAGI***<sup>®</sup>